



2020年東京五輪「関心があるか」
※分らない0.1%は除く。内閣府調査

内閣府は8日付で、2020年東京五輪・パラリンピックに関する世論調査結果を発表した。五輪に「非常に関心がある」と「ある程度関心がある」は計81・9%に上った。五輪を競技場で実際に観戦

内閣府世論調査

東京五輪「関心ある」81%

「ぜひ行きたい」と「できれば観戦に行きたい」の合計は36・4%となった。担当者は「全体的な関心は高まっているが、個々の競技の情報まで十分に伝わっていない。周知に努める」と話している。

東京大会の開催時にボランティアとして参加したいかとの質問では「参加したい」「できれば観戦に行きたい」の回答が計51・2%だった。一方、パラリンピックについては「非常に関心がある」と「ある程度関心がある」が計70・3%だった。「ぜひ観戦に行きたい」であれば観戦に行きたいの合計は36・4%となった。

「ボランティア参加」は22%止まり

調査は6月11～21日に全国の成人3千人を対象に面接で実施された。回収率は62・4%だった。

「できれば参加したい」の合計で22・7%にとどまった。東京23区在住の調査対象者に限ると41・5%になった。

五輪・パラリンピックの開催で期待する効果(複数回答)は「障害者への理解の向上」が最多で44・4%。「スポーツの振興」(39・2%)、「交通インフラの利便性向上」(38・5%)、「バリアフリー導入など全ての人に優しい街づくりの促進」(38・4%)が続いた。

2015年8月9日
朝刊

①2020年東京五輪に関心があるかを円グラフに表すと、分かりやすくなることを書きましょう。

②五輪・パラリンピックの開催で期待する効果を、棒グラフで表しましょう。

年 組 名前